

【3級・解説】

リスニング

PARTE IV (N11 – N13)

N11 a 【正答率】67.8%

F: Hai sentito cos'è successo al fratello di Fiorenza?

M: A Sandro? No... Che gli è successo?

F: Era in bicicletta, una macchina è uscita a marcia indietro da un cancello, non l'ha visto...

M: No! E si è fatto male?

F: È caduto. Si è ferito a un braccio e si è rotto una gamba. Adesso è in ospedale, lo devono operare.

M: Poverino, mi dispiace...

F: Meno male che non ha battuto la testa!

【訳】(女)フィオレンツアの兄(弟)さんに何があったか、聞きましたか？。(男)サンドロに？いや……彼に何があったんだい？(女)自転車に乗っていたら、鉄柵門から車がバックで出てきて、彼が目に入らずに……(男)そんないや！彼は怪我をしたのかい？(女)転んだの。片腕を怪我して、片足を骨折したのよ。今は病院にいるわ。手術しなくちゃいけないの。(男)かわいそうに、気の毒だなあ……(女)頭を打たなくてよかったわ！

N12 c 【正答率】81.2%

F: Marcello... Marcello? Dai vieni un attimo...

M: Sì, Serena, eccomi. Cosa c'è?

F: Come "cosa c'è"? Dammi un consiglio, no? Tu che dici? Va bene così o lo devo mettere un po' più in alto?

M: Sì, ecco... forse un po' più in alto. Ecco, sì ...così. Ma stai attenta con quel martello, a non dartelo su un dito...

F: Vuoi venire a farlo tu, visto che sei tanto bravo?

M: Ma no, dai, dicevo così... Come sei permalosa!

F: A piantare un chiodo nel muro ci riesco anch'io, sai?

【訳】(女)マルチェッロ……マルチェッロ？ねえ、ちょっと来て……(男)いいよ、セレーナ、ほら来たよ。何だい？(女)「何だい」って何よ？アドバイスをしてよね。あなたはどう思う？これでいいかしら、それとももっと上に置くべきかしら？(男)うん、そうだね……たぶんもう少し上かな。そうだよ、そう……そんな具合に。でもその金槌に気をつけるんだよ、指にぶつけないようにね……(女)そんなに得意なんだから、あなたが来てやってくれない？(男)いや、そんなことないよ、そんなふうに言ってただけで……君って怒りっぽいなあ！(女)壁に釘を打ち込むくらい、私にだってできるわよ。

N13 a

【正答率】76.6%

F: Stia attento col suo ombrello , mi sta bagnando tutti i piedi!

M: Oh, mi scusi... Non mi ero accorto... Scusi tanto, davvero.

F: Ecco, sì... Se lo tiene un po' più in là, non c'è problema.

M: È che qui siamo così stretti...

F: Eh, sì. Quando piove tutti prendono l'autobus...

M: L'ho bagnata molto?

F: Beh, un po'... ma ora va bene.

【訳】(女)傘に気をつけていただけませんか、私の両足をずぶ濡れにしますよ！(男)ああ、すみません……気がつかなくて……本当に申し訳ありません。(女)ほら、そう……それをもう少しあっちに向けていただければ、問題ありません。(男)ここではこんなに窮屈な状態ですからね……(女)ええ、そうですね。雨が降るとみんながバスに乗りますし……(男)あなたをずいぶん濡らしてしまいましたかね？(女)ええ、多少は……でも今は大丈夫です。

PARTE V (N14 – N16)

N14 b

【正答率】69.6%

M: Pronto, Patrizia? Sono Roberto...

F: Oh, finalmente! Hai detto che mi richiamavi alle quattro, fra un po' sono le sei!

M: Sì, scusa, è che...

F: Ti sei di nuovo dimenticato di mettere a ricaricare il telefonino?

M: No no, macché... È che oggi sono stato così pieno di lavoro... Mi son proprio dimenticato di chiamarti.

F: Ah, bravo! E... ti sei dimenticato anche della nostra cena, magari.

M: Certo che no! È che purtroppo qui non ho ancora finito, non penso proprio di farcela ad arrivare per le 8:00.

F: Ecco, lo sapevo!

Roberto ha dimenticato:

- a) di ricaricare il telefonino
- b) di telefonare a Patrizia
- c) la cena di stasera

【訳】(男)もしもし、パトリツィア？ロベルトだよ……(女)ああ、やっど！4時にかけて直してくれるって言ったのに、もうすぐ6時よ！(男)うん、ごめん、実はね……(女)携帯電話を充電するのをまた忘れたの？(男)いやいや、まさか……僕は今日はそれほど仕事でいっぱいだったんだよ……君に電話するのをすっかり忘れてしまったんだ。(女)まあ、大したものね！じゃあ……ひよっとしたら、私たちの夕食のことも忘れてしまったんでしょうね。

(男)もちろん忘れていないよ！実はあいにく、こっちでまだ片が付いていなくて、8時までに着けるとはとても思わないんだよ。(女)ほらね、そんなことだと思っていたわ！

ロベルトが忘れたのは:a)携帯電話を充電すること b)パトリツツィアに電話すること c)今晚の夕食

N15 b

【正答率】78.6%

M: Il nuovo corso di lingua inglese organizzato dal Comune dura quattro mesi ed è aperto sia ai principianti assoluti, sia a chi ha studiato in passato la grammatica di base e desidera rinfrescarla. Si sconsiglia la partecipazione a chi già possiede una buona conoscenza della lingua parlata e scritta.

Il nuovo corso è consigliato:

- a) solo a chi non ha mai studiato l'inglese
- b) anche a chi conosce già un po' la grammatica
- c) a chiunque

【訳】(男)市が主催する英語の新講座は4か月の期間で、まったくの初心者の方にも、以前に基礎的な文法を学んだことがあってその復習をしたいと望む方にも、開かれています。すでに話し言葉と書き言葉の十分な知識がある方には参加はお勧めしません。

この新講座が勧められるのは:a)今までに英語を勉強したことがない人だけ b)すでに少し文法を知っている人にも c)誰にでも

N16 b

【正答率】31.4%

M: "Scusi, sono vive e in vendita le aragoste nell'acquario?". È questa la domanda che lo chef di un rinomato ristorante a Cala di Volpe, in Costa Smeralda, si è sentito rivolgere da una coppia di turisti tedeschi che stava cenando nel suo locale. Lui ha risposto di sì, che certamente erano tutte vive e freschissime, chiedendo come preferivano che gliele cucinasse, "alla catalana, con cipolle e pomodorini, oppure al vapore?". Ma i due turisti non erano dei buongustai, bensì animalisti decisi a salvare i poveri crostacei. "Le compriamo tutte, vive. Ce le metta in una scatola, le ributtiamo in mare", è stata la loro risposta.

La coppia di turisti:

- a) voleva mangiare solo aragoste freschissime
- b) voleva salvare la vita alle povere aragoste
- c) voleva le aragoste per metterle in un acquario

【訳】(男)「すみません、水槽の中のイセエビは生きていて、売り物なんですか？」これは、エメラルド海岸のカーラ・ディ・ヴォルペにある有名レストランのシェフが、彼の店で夕食をとっていたドイツ人観光客のカップルから投げかけられるのを耳にした質問です。彼はそうです、もちろん全部生きていて、とても生きがいですよと答え、どのような料理法をして差しあ

げるのがお好みですか、「タマネギとミニトマトを使うカタロニア風ですか、それとも蒸し焼きですか？」と質問しました。しかし 2 人の観光客はグルメではなく、そのかわいそうな甲殻類たちの命を救おうと決心した動物愛護家だったのです。「全部買います、生きてまま。箱に入れてください、海に戻してやりますから」というのが彼らの返事でした。

この観光客のカップルは: a)非常に生きのいいイセエビだけを食べたいと思っていた b)かわいそうなイセエビの命を救いたいと思っていた c)水槽に入れるためにイセエビを欲しがっていた

筆記

PARTE II (N50 – N58)

N50 b 【正答率】57.0%

【訳】君、少し元気がないみたいだね。どうしたの？何か起きたの？

【解説】副詞 *giù* には「元気がなく」の意味があるので、*mi sembri giù* で「私には君が元気がないように見える」という意味になり、心配している様子の文脈に合います。

N51 c 【正答率】36.7%

【訳】昨日私は夜遅くまで働いたので、今日は疲れ果てています。

【解説】<*stanco morto*>は「疲れ果てた、死ぬほど疲れた」を意味する決まった表現です。a)の副詞 *molto*「とても」を使って「とても疲れた」と言いたければ、形容詞の前に置いて *molto stanco* という語順にしなければなりません。b)と d)「ゆがんだ」は文脈に合いません。

N52 d 【正答率】74.4%

【訳】あの人たちは私のいここです。私の母の姉(妹)の子供たちです。

【解説】「私の母の姉(妹)の子供たち」と言っているので、「いここ」を意味する d)の *cugini* を選ぶことになります。a)「伯父(叔父)たち」、b)「孫たち、甥たち」、c)「義理の兄(弟)たち」はいずれも文脈に合いません。

N53 c 【正答率】57.0%

【訳】私はここに住むのが気に入っています。隣人たちともとても気持ちよく付き合っています。【解説】<*trovarsi bene*>は「(ある状況・場所・人付き合いにおいて)居心地よくしている」を意味する決まった表現です。a)だと再帰代名詞の *mi* が不要です。b)の *vedersi* や d)の *tenersi* には同じような用法がありません。

N54 b 【正答率】25.1%

【訳】テレビのボリュームを上げてくれる？テレビニュースで何を言っているのか聞こえないんだ。【解説】文脈から判断して、「テレビのボリュームを

上げる」ことを依頼しているのは明らかです。<alzare il volume>は「ボリュームを上げる」を意味するよく使う表現です。a)の abbassare にすると「ボリュームを下げる」という意味になってしまいます。c)「上がる」と d)「下がる」も文脈に合いません。

N55/56

-【訳】「アンナは日光を浴びたくないから、ビーチに来ないんだ」「もし日焼けしたくないのなら、日焼け止めクリームを使えばいいのよ」

N55 c

【正答率】68.3%

【解説】<prendere il sole>は「日光浴をする、日光を浴びる」という意味の決まった表現です。

N56 b

【正答率】74.6%

【解説】文脈から判断して、b)の再帰動詞 abbronzarsi「日焼けする」を選ぶこととなります。a)の再帰動詞 abbonarsi「定期契約する」、c)の自動詞 abbaiare「吠える」、d)の再帰動詞 abbassarsi「かがむ」はいずれも文脈に合いません。

N57/58

【訳】「日曜日に映画を見に行こうと思っていたんだけど。君、僕と一緒に来る?」「だめなんだ。私の娘のパオラの誕生日なんだよ。7歳になるんだ」

N57 b

【正答率】84.9%

【解説】「日曜日に見に行く」対象として、正確な表現になっているのは b)の andare a vedere un film「映画を見に行く」です。film が作品としての「映画」を表すのに対して、a)の cinema は「映画」というジャンル全体を表すのと「映画館」を表すのに用いられる名詞です。<andare al cinema>であれば問題ありません。c)の場合、一般的な表現として「芝居を見に行く」と言いたいのであれば<andare a teatro>という表現を用い、また、d)の場合は andare a vedere una partita di calcio「サッカーの試合を見に行く」というような表現を用いることが考えられます。

N58 d

【正答率】94.5%

【解説】「7歳になる」と言っているので、その日は compleanno「誕生日」であることは明らかです。a)「結婚式」、b)「休日」、c)「元日」はいずれも文脈に合いません。

PARTE III (N59 – N65)

【訳】イタリアの大科学者で電話の発明者であるアントニオ・メウッチは1808年4月13日、フィレンツェに生まれます。彼の家族は貧しい家で、彼はとても若いうちから働き始めたので、美術学院での学業を修了することができませんでした。会社員から、舞台技術者、税関吏までにもいたる、さまざまな種類の仕事を行ないますが、彼の情熱の対象はすでに電気であり、政治にもとても関心を持っていました。まさにその自由主義的で共和主義的な政治思想が原因で、彼は監獄行きにもなってしまう、ついには移民することを決意します。1835年、前年に結婚した若妻と一緒に、彼はある劇団に加わってキューバに向けて出発します。彼はその劇団で舞台技術者としての仕事を見つけていたのです。この夫婦は優に15年間ハバナにとどまります。1850年に合衆国のニューヨークに移るときまでです。このニューヨークでメウッチはロウソク工場を始めますが、その間、決して中断したことがない研究、やがて彼を偉大な発明へと導くことになる研究を続けます。こうして1856年、電話の最初のモデルを完成します。これを彼は自分のオフィスから、重病のため寝たきりを余儀なくされている妻と話すために使用します。あいにくロウソク工場は倒産し、彼は自分の研究を続けるのに必要なお金がなくなってしまう。彼は出資者を探しますがそれも空しく、彼の研究に投資することに関心を示す人間を1人も見つけることができません。1871年に船上での事故が原因で負傷してしまい、何か月も床につかざるを得なくなったとき、ただでさえ困難な経済状態はさらに悪化します。彼の妻は生きるために夫の電話装置まで売り払うことを余儀なくされます。しかしメウッチはくじけることなく、その同年の12月に、「テレトフォノ」と名づけた自分の発明のために特許を申請します。彼は20ドルしか自由にできませんでしたが、これは暫定的特許証の支払いをするのに足りるだけで、毎年10ドルを払って更新しなければなりません。メウッチには1873年までしか支払えませんでした。1876年には、周知のように、アレクサンダー・グラハム・ベルが彼の電話機の特許のために申請書を提出します。メウッチは自分の発明に対する正当な扱いを求めて残りの生涯を過ごしますが、むだでした。彼は1889年10月18日にニューヨークで、81歳で亡くなります。2002年、合衆国議会は彼が電話の最初の発明者であると公に認めました。

N59 b

【正答率】79.9%

【訳】アントニオ・メウッチはフィレンツェの美術学院を卒業した

N60 a

【正答率】93.5%

【訳】彼は若い頃にいろいろな仕事をした

N61 b

【正答率】66.3%

【訳】彼は1835年に結婚した

N62 b 【正答率】81.7%
【訳】政治に関心がなかったので、彼はイタリアを離れた

N63 a 【正答率】67.1%
【訳】彼はキューバでは劇場で働いた

N64 a 【正答率】62.8%
【訳】彼も妻も健康に大きな問題を抱えた

N65 b 【正答率】66.6%
【訳】電話の最初の発明者はベルだった